



出雲地区森林組合広報 *JForest*

「緑の二だま・いずも」

No.39
平成31(2019)
3/5

発行
出雲地区森林組合 出雲市塩冶町967番地1
TEL (0853) 22-4433(代) FAX (0853) 22-5070
メールアドレス: izurinsomu@m1.izumo.ne.jp
ホームページアドレス: <http://www.izurin.jp/>





出雲地区森林組合 合併20周年記念式典

10月23日にニューウェルシティ出雲において総勢187名により記念式典を挙行了いたしました。

高砂明弘組合長の挨拶、合併当初から現在までの組合の経過報告、旧役員・総代への感謝状贈呈、従業員への表彰状授与の後、来賓の島根県知事 代理 農林水産部次長 桑本幸夫さまをはじめ5名の方にご祝辞を賜りました。

また、記念式典終了後、島根県農林水産部 林業課長 前島和弘さまに「島根県の林業の将来と出雲地区森林組合への期待」と題して、県内の林業状況と今後の重点推進事項および当組合事業の期待について記念講演をいただきました。

今後は、この合併20周年を機にすべての面で「新たなスタート」と位置付け、緑滴る環境を守り、育て、地場産業を支える役割と森林の持つ保水力、産地をしなやかに守る安心安全な防災力を高めて、わたしどもの存在をより明確にすべく力強く前進するための節目として、次の10年への一步としていきたいと思っております。

組合員の皆様に一層ご信頼いただけるよう鋭意努力してまいる所存ですので、関係機関の皆様にもあわせて、さらなるご指導、ご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

目次	CONTENTS
出雲地区森林組合 合併20周年記念式典	1
ごあいさつ	2
全国植樹祭	3
平成31年 安全祈願祭	3
伐木作業研修会	3
夏休み親子木工教室	4
寿生の森 植樹祭	4
「みーもスクール」開催	5
南中学校 椎茸植菌作業体験	5
枝葉の買取について	6
出雲市樹医センターの閉所について	6
林業の担い手を募集中です	6
組合員の皆様へお願い	6

ごあいさつ

出雲地区森林組合
代表理事組合長 高砂 明弘



新しい年を迎え組合員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

日頃より森林組合活動に対しまして、ご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

近年異常気象が続くなか今年の冬は暖冬になり、お陰様で組合事業は降雪の影響も少なく着々と進んでいるところです。

昨年を振り返りますと、一月末から二月にかけての寒波に始まり、地震、水害、酷暑と広く気象災害が続き、地域社会や組合事業にも大きな影響がありました。被災された皆様には心からお見舞い申し上げます。被災された皆様には心からお見舞い申し上げます。自然環境の変化は、私たちの生活は元より天地全てのものに影響を与えます。森林に囲まれて生活できる私たちの暮らしが、今年は安寧であるようにと願わずにはいられません。

また昨年十月に合併二十周年記念式典を行いました。ご来賓、総代、役員員合わせて百八十名余の参加を得て盛大に挙行出来ました。ご協力頂きました関係者の皆様には改めて御礼申し上げます。このたびの二十周年記念事業に関わりながら過去を振り返りますと、二十年の間に組合を取り巻く環境が大きく変わった事を痛感しました。

合併を機に組合員の皆様から賦課金の徴収を止めましたが、これは負担の軽減になったと思いますが、一方で組合と組合員の繋がりとという面ではマイナスになった様に思

います。またご存じの通り、木材価格がピークであった昭和五十年代より下落していき、二十年前に比べて現在では約半分位の価格になっています。このことは組合員の林業経営意欲を失わせる原因となり、造林して育てた森林が手入れをされず伐採もされず荒れた森林が増加し、組合員の林業離れを加速させているとの指摘は的はずれではありません。そのほか松食い虫被害の蔓延や、後継者への継承がされず所有境界未確定の森林の増加もあり、民有林の森林整備事業は大幅に減少となりました。一方出雲市は平成十七年に二市四町での広域合併が行われましたが、これによる公有林の森林整備事業も減り、合併時に比べて森林組合の売上は半分にまで落ち込み、経営不振を脱するため支所の閉鎖や赤字事業の廃止等断行して対応せざるを得ませんでした。事業量の減少に伴い林業の担い手たる作業班や職員数も減っています。

このような状況の中、組合員の皆様に、万一サービス等が低下しご不便を掛けていたことがあればお詫び申し上げます。協同組合としての森林組合経営は大きな利益を出す必要はありませんが、しかし赤字を出すことはなお悪いことであり、健全な組合経営を維持するため今までの反省を踏まえつつ今後邁

進していく覚悟でいます。

さて昨年の五月、国会にて森林管理法（新たな森林管理システム）が可決し平成三十一年四月から施行されます。森林所有者による森林経営管理や、森林組合への施業委託以外に、新たに経営管理が出来ない所有者から市町村が委託を受けて管理を行う事が出来る（市町村は再委託もできる）ようになりま

す。この仕組みを円滑に機能させるため、必要な財源として平成三十一年度より森林環境譲与税が導入されることに決まっています。まったく新たな制度、税制であり、その使途や方法については具体的に検討中ですが、組合は組合員の負託に応えるため積極的に取り組んでまいります。

合併後二十年間の成果を礎として、これからの森林組合の明るい将来のために役員員一体となって努力してまいりますので、更なるご支援、ご協力のほどお願いいたします。





第71回

全国植樹祭 しまね 2020

木でつなごう 人と森との 縁(えにし)の輪

出雲地区森林組合は第71回全国植樹祭を応援しています。

2020年春季、三瓶山北の原を式典会場として約6,000人の参加予定者により実施されます。

戦後に植林された人工林が利用期を迎えつつありますが、生産される木材を暮らしの中で積極的に利用するとともに、伐採後の森林を適切に更新することが重要な課題となっている中で、全国植樹祭ではこうした新たな緑の循環を進める決意を全国にアピールします。

平成31年 安全祈願祭

組合本所2階にて1月4日安全祈願祭・仕事始め式を執り行いました。

安全祈願祭は弥山神社 錦織宮司の祭祀により役員・従業員の今年一年の安全・健康をご祈願いただき、最後に今年の安全テーマ『気を付けて 過信・省略・慣れ作業』の作成者 森林整備課主査 三加茂祥二さんの発声により参加者一同で指差唱和をしました。

その後の仕事始め式では、従業員を代表して 森林整備課課長補佐 石飛友美さんが今年の誓言を述べ気持ち新たに新年のスタートを切りました。



伐木作業研修会

平成30年12月19日(水)当組合にて毎年行っている若年従業員を対象とした伐木作業研修会を開催いたしました。

毎年入組する従業員に、安全な伐採作業の基本を身に付けてもらうことを目的に行っています。

原 圭太指導員から5名の研修生に伐採姿勢と受口、追口の作り方を指導してもらいました。使用するチェーンソーの重さは5kgくらいあり1日持っているとなります。その疲れを軽減できるようなチェーンソーワークなども教えてもらいました。

昼からは1人ずつ伐倒方向を決め、学んだ事を忠実に伐採をしました。

林業は災害が多い業種です。災害をなくすためにはまず基本が大事です。基本を学ぶ為の研修会を今後も継続して実施していきます。



注意事項



受口・追口確認



いざ伐採

夏 休 み

親子木工教室



平成30年8月4日(土)午後から4家族15人の参加で親子木工教室を開催しました。

最初に加工工場長から部材の説明、注意事項の話があり、作業に入ると子供達は早速金槌を持ち部材へと打ち込み開始。釘を上手に真下に打ち込む子、斜めに釘が入って苦労した子がいましたが、家族で会話が弾む中たのしい時間を過ごす事が出来ました。

木工教室にご参加頂いた皆様ありがとうございました。



《木工教室へのご意見・ご要望等の連絡先》

出雲市朝山町1314-1 加工工場

TEL(0853)48-2103 FAX(0853)48-2113

寿生の森 植樹祭

平成30年11月21日(水)寿生病院関係者による植樹祭が開催され当組合からは準備と当日のお手伝いをさせていただきました。

これは寿生グループに係わる職員の皆様で立ち上げた「医療福祉の郷パーク化構想実行委員会」による水と緑の森づくり事業を活用した植樹祭で空模様が心配される中、病棟東側山林に四季を彩る6種類の広葉樹(ハナモモ、ヤマザクラ、モミジなど)の苗木100本が植栽されました。

参加者のほとんどは植栽の経験もなく、また植える箇所も急斜面でしたが、難なく作業をこなされ、当初予定していた時間より早く完了することができました。今後はメンバーの皆さんで下草刈りや散水作業に取り組み、樹木の生長、花の開花、モミジの紅葉等の憩いの森ができて、入院をされている皆さんの心の癒しになることでしょう。



『みーもスクール』開催

平成31年1月16日(水)
水と緑の森づくり事業を活用して古志地区自治協会が
地元の神戸川小学校4年生

を対象に『みーもスクール』を開催し、そのお手伝いに当組合からも参加いたしました。

学校側が準備した教材と組合からも提供させていただいた木材加工品を使い、生徒さんたちは慣れない手つきで真剣にノコギリやカナヅチを使って創作品を作りました。

子供の発想力は大人が想像するよりはるかに豊かで、あらためて子供の頭のよわらかさに驚かされた1日でした。



工作の様子



作品紹介



南中学校 椎茸植菌作業体験

平成31年1月22日(火)出雲市立南中学校で毎年実施されている1年生全員参加の椎茸の植菌体験があり、東部農林振興センター出雲事務所の指導員2名と組合から2名お手伝いとして参加しました。

まず最初に出雲事務所の指導員さんによる説明を聞いてから、原木に穴を開ける箇所にチョークで印を付けドリルで穴を開けました。生徒の皆さんは初めてドリルを使われたので怖いかなと思いましたが、結構楽しそうに作業をされていました。

菌を植え、裏の杉林に原木を持って行き伏せて完了しましたが、2年後の収穫が楽しみです。



枝葉の買取 について

今迄、山林等に放置されていた枝葉や末梢木がチップの原料に利用出来ます。皆様がチップ生産工場まで持ち込まれれば買取しますので、チップ生産工場迄お問合せ下さい。

なお、竹、根株、金属、ビニール類や草が混入している場合、受取りは出来ませんのでご注意ください。

●受入時間 AM 9:00～PM 4:00

●お問合せ先 チップ生産工場

出雲市上島町2684 ☎(0853)48-2070

出雲市樹医センターの閉所について

平成2年より樹木の健全な育成を図るために樹医の活動をサポートしてまいりましたが、平成31年3月27日の出雲市樹医センターの閉所に伴い事務局としての役割を終了することとなりました。

平成31年4月からは、出雲市が作成した病虫害による樹木の症状や処置方法、新たな相談窓口となる造園業者を検索できるホームページが開設され、診断から治療までを行うことが可能になります。

新しいシステムに移行されましても、引続きのご利用をお願いいたします。

長年に亘り出雲市樹医センターをご利用頂きありがとうございました。



出雲市樹医
シンボルマーク

林業の担い手を 募集中です

自然の中で、心地良い汗を流しませんか！



●仕事の内容

植栽、保育（下刈・除伐・枝打、間伐）、伐採処理など

●応募資格

普通自動車運転免許
（AT不可）を所有しておられる方
（他の資格につきましては必要に応じて取得していただきます）

●お問合せ

☎(0853) 22-4433

一緒に働いていただける
従業員の方のご応募を
お待ちしております。



組合員の皆様へ
お願い!!

- ①組合員様の死亡等により、名義変更の必要が発生した時
- ②転居等により、住所・連絡先が変更になった時

届出の必要がありますので総務課までお問合せ下さい。

総務課 TEL(0853)22-4433